

あくまでも自分史として

「岳陽」と共に

○人生は、マラソン（単独走）か、駅伝（リレー走）か？

○こんなことがあっていいのか？だが…

ある意味陳腐な話題とはなるが、最近のユーチューブ視聴（哲学・思想＝歴史認識や文芸批評）に際して、直接的には文芸を通してではあるが（何人かのインフルエンサーが描き出す）、人生のあり方を考えさせられている（本当に刺激的で、これまでの自分の思索、知識のあり様が、深いところから搖さ振りをかけられている！）言い換えれば、自分自身のこれまでの様々な経験や思考の断片（こう言わざるを得ない！）が、それによって焙り出され、再構成させられているとも言える！本当に、彼らの知性、そして、彼らが創り出している知の世界、否、その仲間集団が羨ましい！

その中で、誰かが言っていた（多分HY氏？）この人は凄い！）、学問・芸術は、一種の「リレー」であるということに、ハッとしたが、目的の成就ということでは、今回の旅は、そこそくはなく（それもあるかもしれないが）、結果として「だが必然？」とさせられた！ただし、それは、当事者達の明示的な行為ではなく（それもあるかもしれないが）、結果として「だが必然？」とさせられるものであるというような捉え方である！とにかく、その指摘が、真に納得させられるものであり、今の、自分の要素（パソコンを使つた）この「通信」もそうである！

要は、自分の「書く行為」が、多少なりとも意味のあるものに思えるということであるが（自己満足？単なる老後の暇つぶしではない？）、それ自身が、これから生き様に力を与えてくれるということである（たとえ身近な人々、否、奥さん？が

活躍が目立つてもいたので、私は、非常に複雑な光景であった（ちなみに、昨年は、立場が逆であった）！

中で、選手達は、人間的にも成長していくので（その時は、

チームプレーであるので、しかも、沢山の選手の起用

によって、それが成り立っているということであるが（保守が革新的であつたり、革新が保守的であつたりするは、その証左？だから、そ

こには、「保守」も「革新」もない？ただ、一所懸命に対処するだけ！）、自分は、保守であるとか、革新であるとか言つても、最早、それだけでは意味がない！要は、自分が、どういうものを守り、どう

いうものをえていきたいのか、その具体が、逐一問われるとい

うことである！そして、その際、何を選べば、自らが幸せとなるのか？そこを、一人一人が考え、動いていくしかないということである（いわゆる「国益」も、その延長線上にある？）！

第 65 号

発行日

2025.12.15

編集・発行

井上講四／堂本彰夫

※連絡先

〒901-2225

沖縄県宜野湾市

大謝名 3-13-24

教育協働研究所

～岳陽舎～

(井上講四宅)

Tel:098-963-9282

E-mail:

gakuyou17@outlook.jp

○「今を生きる」「そこ」に生きる「一結局はそこ」に?:

本当に、今、私(ここ)では草本の頭の中は、ある種の精神の高揚で一杯である(身体的不調にも拘らず?)!それは、繰り返し述べるように(井上氏も告白しているように...)、ネト上である。ある人達の言論に刺激を受けてのものである。つまりして、「そういう人達がいるのであらうか?何故、これまで、こういう人達の存在を知らなかつたのであらう?」などして、「自分の世界が狭小で、独り善がりもよいとこれまでに、自分の世界が狭小で、独り善がりもよいところであった」ということであろう!!